

日時：2013年9月28日（土）～29日（日） 前夜発

目的：箱の山の最高峰、神山登山と、外輪山、矢倉岳登山そして懇親会

参加者：飯田（20期）、安達（26期）、平井（48期）、久世（56期） 牧田（60期）
久世（想太郎）、春山千香子、竹永（春山さんお友達）

行動：9月27日（金）、午後9時安達者にて、久世マンションにて待ち合わせ、
神田淡路町にて、春山さん、竹永さんと、9時半待ち合わせ、出発。

飯田さんと箱根湯本駅前にて、11時50分ころ合流。

12時半頃、箱根強羅マンションにて、牧田会員と合流。

9月28日（土晴れ）9時頃、マンション発、大涌谷駐車場から、登山開始
冠が岳から箱根最高峰、神山そして駒ヶ岳へ、眺望が素晴らしい。

結構時間が経ちましたが、大涌谷駐車場に戻る。

10時前に登山開始、駐車場には午後4時過ぎに帰着。

仙石原にて、懇親会の買出しをして、マンション5時過ぎにつきました。

平井君合流。

懇親会夜7時より。竹永さん食事後8時半に電車にてお帰りに。

9月29日（日、晴れ、曇り） マンション清掃後、10時過ぎに出発

小山、経由足柄街道、万葉公園駐車場、春山さんは、登山せず、万葉公園を散策。

12時頃登山開始、登り1時間で矢倉岳到着。休憩後下山。40分くらいで駐車場に
大雄山経由にて、最乗寺、導了尊を、観光。大雄山鉄道大雄山駅にて、飯田さんと別れる。

小田急線、新松田駅前にて夕食後、平井君は新松田から、電車にて帰宅、

牧田君とも、ここで別れる。夕方の渋滞にハマリ、夜9時頃、淡路町にて、

春山さんと、錦糸町にて、久世君親子と別れて、帰宅。

今回も、箱根中強羅マンションを借りての、懇親山行会でした。

初めての参加ですが、春山千香子さん（元会員、丸山元夫人）が以前から故清水さん夫人など
ご一緒にハイキングを致ししようと、話がありましたが、春山さんがお母さんの長い介護、
看護のため実現でいないでいました。

残念ながら、お母様が亡くなられ、心を痛めていましたので、気晴らしにお誘いしたのです。

私もそうですが、竹永さんも、千香子さんも、久しぶりのハイキング、軽いハイキングを計画しま
した。一応、箱根では一番高い、神山を含むハイキングです。



晴れて、富士山もよく見えます。楽しいハイキングになる予感です。冠が岳は、樹林の中です。
急なくだりを戻り、神山ですが、ここも眺望が、ありません。

ここから、駒ヶ岳までの長いハイキングが始まります。

飯田さん78歳だそうですが、頑張りますねー。



結構、眺望の無い上り下りを繰り返すと、ロープウエーの頂上駅のスピーカーの音が聞こえてくる。

最後の一踏ん張りで、展望のよい駒ヶ岳頂上に着きました。



トイレ休憩を含めて、ロープウエーの駅に行きました。

展望台からの景色は素晴らしく、ここまで来た甲斐がありました。

芦ノ湖が真下に、相模湾や、駿河湾も見えます。



上を眺めると、降りてきた箱根神社が見えます。

女性陣も、私も。ここからロープウエーで降り、車で迎えに来てほしかったが、大涌谷まで75分の案内にだまされ、ひたすら歩いて、大涌谷へ、早雲山ロープウエーが見えてきました。

ススキの咲く道を下ります。

大涌谷に、下りて、温泉黒卵を食べたのは、申すまでもありません。

結局、昼ごろ下りる予定が午後4時過ぎになってしまい、6時間行動は、女性達も、立派なものです。怪我も無く下れたことは、嬉しい事です。

想太郎君は、泣き言も言わず、最初に、リーダーは想太郎君だよと皆に寄せられ、元気に歩き通しました。



平井君が強羅駅に3時半頃ついたとの事ですが、待ってもらって、仙石原、唯一のスーパーで今晚の懇親会用食材、驚くほどのアルコールを買い込み、有一の肉屋で、ロースとビーフやコロケ、馬刺しなど買い、マンションに戻り、温泉に入り、懇親会の用意です。春山さんと、竹永さんが持参した、フランスパンやペーストが花を飾ります。寝る用意をしての、懇親会です。平井君の差し入れの蒲鉾もおいしいです。



今回は女性も参加したので、華やかな会になりました。

春山さんは元会員の元夫人ということで、参加した飯田さんはじめ、私も、平井君も、久世君もよく知っていて、昔の話に盛り上がりました。新婚の頃から、良く泊まりに言った事、元会員にまつわる色々な話に時間は過ぎていきます。平井君が春山さんのお家に泊まった事が有るというのは、初耳でした。

竹永さんが、8時を過ぎてお帰りになりました。時間が遅いので東京への帰りが心配ですが、時間を調べてお帰りになったようです。

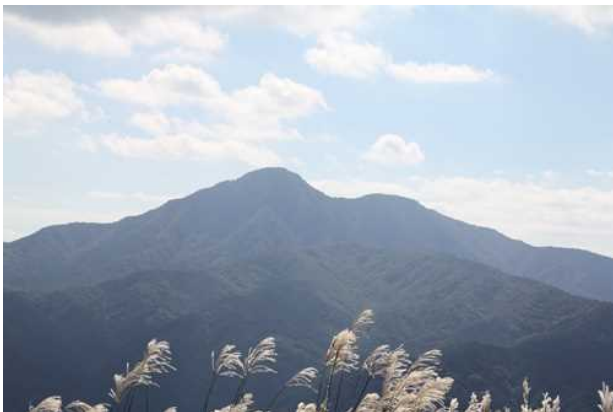
9月29日は朝から温泉に入っの行動です。

乙女峠を越え、小山に出て、回り込んで足柄街道に入り山道へのドライブ、

万葉公園の駐車場へ車を置いて、春山さんは明日の事もあり足を酷使できないので、万葉公園を散策していたいということで、男だけで、矢倉岳に向かいました。



万葉公園のあずまやからは、これから登る矢倉岳が見えます。
パラグライダーが一機、頂上から飛び出して、左側に浮いていました。
公園には、万葉集の短歌が色々記されています。秋の花も咲いています。
登山口に熊が出たのでしょうか？注意書きがありました。
樹林の中の道は、歩きやすい道です。だらだらとした杉林の中の道を行います。
やがて、右に折れ、急な道を登ると頂上です
ノンストップ、一時間くらいで、頂上に着きました。
そこからの眺めは360度の眺め、あいにく富士山は雲の中ですが、金時山が目の前に、遠く大涌谷の噴煙が見えます。



小田原の町と、相模湾も眼下です。
頂上には櫓が組まれていて、昔、戦国時代の要衝であったことをうかがわせます。



春山さんが、待っているのです、さっさと下ることに。
40分くらいで、駐車場に帰りました。
そこから、足柄街道を小田原に向かい、途中大雄山の駅から、大雄山最乗寺、導了尊

により、大きな境内を見学しました。

山際のお寺は大きく、広く、山に沿って境内が上に伸びていました。



ここは、天狗を祭っていて、天狗ゆかりの物が多いです。

写真を撮っていたら、左手の薬指に、しじみ蝶が止まり、羽を休めて動かなくなり、車に乗り込むまで、休んでいました。これは何の因果なのでしょう。

大雄山駅に戻り、食事をしようとするが、みんな開いていないか、準備中で、そこで飯田さんが電車で帰るので下り、残りで蕎麦屋を探して、小田急の新松田駅近くまで行き蕎麦屋を見つけ、食事をし、そこで平井君が電車で群馬に、牧田君は名古屋に帰りました。

渋滞にハマリ、東京神田淡路町に戻ったのは 9時頃でした。

春山さんが下り、久世君親子を送り、10時過ぎに、我が家に帰りました。

温泉も良く、天気も良く、楽しい時間をすごすことができました。

皆様ありがとうございます。